

新聞を好きになってもらうために

熊本市立託麻東小学校六年 上本 董

わたしは、将来新聞記者になりたい。わたしが新聞記者を志すきっかけとなったのは、三年前の熊本地震だ。わたしは自宅で二度の大地震を経験した。今まで色々な情報を集めるのに使っていたテレビは電源ボタンを何度押しても映らない。スマートフォンやパソコンも充電切れのため使えない。ライフラインが寸断した当時、新聞の情報がとても役に立った。新聞には、被害状況や給水の日時、場所などの情報が細かく分かりやすく書いてあった。そのとき、新聞は災害時に人々を助ける重要な情報源であることを実感し、将来新聞にたずさわる仕事になりたいと思った。

また、わたしは小さい頃から本を読んだり文章を書いたりすることが好きなので、自分の書いた文章で読者に色々な出来事や情報を伝えられたら幸せだと思う。わたしは将来新聞記者になったら、「相

手の気持ちを考えて質問したり行動したりする」ことを気を付け、信頼される記者になりたい。また、わたしは食べることが好きなので、食べ物についての記事も書いてみたい。

わたしの将来の大きな目標は、「新聞を好きになってもらうこと」だ。今の時代、インターネットで何でも調べられ、ニュースを見ることができる。しかし、新聞はいざという時に役に立つ。そのことを皆に知ってもらい、新聞の普及率を上げていきたい。そのため、「皆が新聞を好きになるためにはどうしたら良いか」を常に考え、深めていきたい。

新聞記者になるために今は、本をたくさん読んで文章力をつけたり、新聞を毎日しっかりと読んだりすることを頑張りたい。

らない仕事と聞いたが、わたしは初対面の人やよく知らない人と話すのが苦手だから、今から初対面の人やよく知らない人とも、はきはきとはずかしがらずに話せるようになるために、託東タイムという学校でやっているコミュニケーションの練習で、相手の目を見てうなずきながら話したり聞いたりを今まで以上に意識して、毎日の生活の中でも実践し、身に付けていきたい。

上本 董 のライフプラン

将来なにになりたいか？
新聞記者

その理由：
文章を書くのが好きで、自分の文章で皆に色々な出来事を伝えたいから。地震で新聞の大切さを実感したから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2019年	12(小6)	①本を読んで国語力をつける。 ②新聞をよく読む。	①本代 ②新聞代
2020年	13(中1)	③色々な体験をする。	
2021年	14(中2)	↓	
2022年	15(中3)	④高校受験に合格	③高校費
2023年	16(高1)	高校入学	
2024年	17(高2)		
2025年	18(高3)	↓ 大学合格	
2026年	19(大1)	⑤大学の文学部に入学。	④大学費
2027年	20(大2)	(政治学、法学、経済学)	
2028年	21(大3)		
2029年	22(大4)	↓ 大学卒業	
2030年	23(1年目)	新聞社の試験を受け、採用され、仕事を始める。	
2031年	24(2年目)	・社会部 製理部などの仕事をしたい。	
2032年	25(3年目)		
2033年	26(4年目)		
2034年	27(5年目)	↓	↓
2073年	65(32年目)	定年退職	